

特集

災害からわが身を守ることを考える 〜土砂災害・洪水に備える〜

昨年7月の西日本豪雨では、多くの地域で豪雨による大変な被害が発生しました。また今年も、各地で大雨による避難勧告などが出され、多くの人が不安な時間を過ごしました。

準備が必要か、災害が起きたときに、どのように行動したらよいかなど、適切な知識を持ち、自分の命は自分で守ることを心掛けましょう。

事前の準備

近年、局地的な豪雨や台風の大型化などもあり、土砂災害や洪水は、「いつ」「どこで」起こるか分かりません。災害に備えて、どのような

●非常持ち出し品や家庭内の備蓄品の準備
持ち出し品の量は、避難場所までの距離などを考え、必要量にしましょう。また、家庭における食料や水などの備蓄品は、最低でも3日分程度を目安に、可能であれば一週間分を備えましょう。

●気象・避難情報の収集
台風や豪雨が予想されるときはテレビ（データ放送）やラジオなどからの気象情報や避難情報に注意しましょう。市では、災害の危険が迫ったときに避難勧告などを発令して避難を呼び掛けます。主な伝達手段は次のとおりです。

- ・緊急速報メール
- ・桐生ふれあいメール
- ・防災ラジオ
- ・防災行政無線
- ・アラート（テレビのデー



大雨時、落石の様子（6月撮影）

夕放送など）

・市ホームページなど

●地域の危険箇所や避難場所、避難経路の確認

地震や土砂災害、洪水など、災害の種類によって避難場所が異なる地域があります。

事前に住んでいる地域の危険箇所や避難場所、避難経路をハザードマップなどで確認しましょう。各種ハザードマップは市役所3階の安全安心課や市役所4階の土木課のほか、市ホームページにあります。

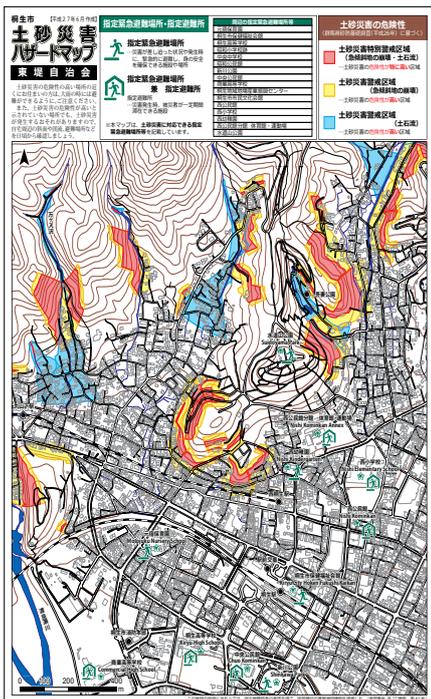
早めの避難を

土砂災害や洪水による被害

に遭わないためには、「早めの避難」がとても重要です。また、土砂災害警戒区域や浸水想定区域に住んでいる人は、その区域外にある安全な場所へ移動する立ち退き避難が原則です。

すでに道路が冠水しているなど、移動に危険が伴う場合には、無理に避難場所まで避難せず、自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた近隣の建物の上階に避難してください。

いざというときの対応を一人ひとりが状況に応じて自らが判断し、適切な行動をとりましょう。



土砂災害ハザードマップ

こんにちは
市長です



まつりを通して
元氣な桐生を全国に

今年の第56回桐生八木節まつりでは、多くの皆様に八木節おどりを楽しんでいただけたことと思います。また、364年の歴史と伝統を誇る桐生祇園祭の祭礼行事のほか、多彩な協賛行事も行われ、県内外から56万5000人という多数のお客様にお越しいただきました。

第35回新里まつり、第32回くろほね夏まつりも、台風の影響はありましたが、趣向を凝らした様々な行事が行われ、多くの人でにぎわいました。それぞれのまつりの運営に携わられた皆様に、心より感謝を申し上げます。

これらの「まつり」は、桐生市の歴史と文化に触れる機会であると同時に全国に「元氣な桐生」を発信できる絶好の機会です。今後も伝統を誇るまつりを次代へ継承し、郷土桐生の発展につなげていきたいと思います。

桐生市長 荒木 恵司

自主避難所指定施設一覧

- ・昭和公民館
- ・南公民館
- ・東公民館
- ・西公民館
- ・北公民館
- ・境野公民館
- ・桜木公民館
- ・広沢公民館
- ・梅田公民館
- ・相生公民館
- ・みやま園
- ・菱公民館
- ・桜木西公民館
- ・新里支所
- ・黒保根支所

自主的に避難できる避難所を開設しています

市が避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）を行う前でも、災害の恐れや不安を感じた場合は、早めの自主避難をお願いします。

市では、台風が接近する恐れや雨が長時間降り続く場合などに、発生状況を考慮したうえで、自主避難所を開設しています。

親類や知人宅など、安心できる場所へ避難することができます。自主避難所には、ご利用ください。

自主避難所に指定している施設は、左表のとおりです。

自主避難所についての情報は、桐生ふれあいメールや市ホームページなどお知らせします。

指定施設へ避難を希望する

緊急告知FMラジオ
(防災ラジオ)

災害時の情報伝達手段の一つとして、「緊急告知FMラジオ(防災ラジオ)」を1台1000円で頒布しています。

このラジオは、電源が入っていない状態でも、緊急情報の信号を受信して、自動的に最大音量で流します。頒布場所は、市役所3階



の安全安心課、新里・黒保根支所、境野・広沢・梅田・相生・川内・菱公民館です。

問い合わせは、安全安心課(☎内線415)へ。

場合は、電話で安全安心課(☎内線415)へご連絡ください。

なお、菱・桜木公民館、新里・黒保根支所は、業務時間外の場合、開場に時間がかかりますので、お早めにご連絡ください。

●自主避難所の入所時間

夜間の避難は危険が生じるため、自主避難所への入所は原則午後8時までとします。

緊急の場合や命に危険が迫る場合などは、この限りではありません。

●自主避難所利用時のお願い

次の点を守り、他人の迷惑にならないよう、お互い譲り合ってください。

- ・食料品や日用品などの提供はありません。
- ・飲料水、寝具(毛布など)、着替えなど最低限の必要品は持参してください。
- ・酒類の持ち込みやペットの同伴はできません。
- ・指定した部屋とトイレ以外の使用はできません。また、断りなく備え付けの物品などに手を触れないでください。
- ・なお、発生したごみは各自で持ち帰り、退所時に入所者で協力して使用した部屋を清掃してください。
- ・気象情報、災害情報は、各自で持参した携帯ラジオなどで最新の情報を収集してください。

問い合わせは、安全安心課防災係(☎内線415)へ。

土砂災害の予兆現象に注意しましょう

土砂災害の危険性の高い場所に住んでいる人で、下の表のような状況を確認した場合は、適切な避難行動を始めてください。

土石流の予兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・急に川の水が濁り、流木が混じり始める ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる ・立ち木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる
地すべりの予兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・地面に亀裂や段差、陥没が発生する ・がけや斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・樹木が傾く
がけ崩れの予兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・がけに割れ目ができる ・がけから小石がパラパラと落ちてくる ・がけから水が湧き出る ・湧水が濁ったり、止まったりする ・地鳴りがする

雨の降り方や雨量に注意しましょう

雨の強さを知り、雨量に注意することで、事前に災害発生の危険性を知ることができます。雨に関する正しい知識を持ち、日頃から災害に備えましょう。

雨の強さ (予報用語、1時間雨量)	人への影響など
やや強い雨 10～20mm	・地面からの跳ね返りで傘をさしていても足元が濡れる
強い雨 20～30mm	・傘をさしていても濡れる ・車のワイパーを速くしても見えにくい
激しい雨 30～50mm	・道路が川のようになる
非常に激しい雨 50～80mm	・傘は全く役に立たない ・水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる
猛烈な雨 80mm以上	・車の運転は危険